

えほんのおへや通信



2010年11月1日(月)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

「えほんのおへや通信」を発行してから4年が過ぎました。その間に紹介しました絵本は約300冊を超えました。それは毎日の「読み聞かせ」や「貸出し」に大活躍しています。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」11月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「ぼんちんぱん」

柿木原政広作

「ぱんぱん しょくぱん ぼんちんぱん」と、歌のようなリズム的な言葉にあわせて、食パン、あんパン、ロールパン、など、普段食卓で目にする子どもたちが大好きなパンが登場。パンをちぎってみると……、



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「いたちのてがみ」

こしだミカ 作

おばあちゃんの古い家へ引っ越してきた女の子。天井から何か音がします。「いたちがおるんよ」。おばあちゃんが教えてくれた。ある晩、女の子は路地からとび出してきたいたちに会います。チーズを置いたら、翌朝そこにはいたちのうんこが。その形は……



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「まるきのヤンコ」

～ スロバキアの昔話 ～

洞野志保再話・絵

子どものいない夫婦が木の人形を作って、子守歌を歌ってやると、人形の目が開き、体が動き始めました。そこで、夫婦は男の子にヤコと名づけました。3人は幸せに暮らしていましたが、ある日、森の奥に住む魔女がヤコを食べようとさらっていきます。



こどものとも

5～6歳向き

「カマキリのかんちゃん」

石橋真樹子作

冬が近づいたある日、ななみは家のカテナにかマキリを見つけ、かんちゃんと言いました。かんちゃんは飛んできたアブをじょうずに捕まえ、むしゃむしゃ食べてしまいました。こうしてななみは、かんちゃんを肩にとまらせて滑り台をすべったり、一緒に楽しく遊ぶようになりましたが、冷たい風が吹いた翌朝、かんちゃんは床の上で動かなくなっていたのです……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「もりの みんなの やまぶどう」

あかしのぶこ 作

真っ赤に色づいた葉っぱのかげに、山ぶどうがたくさんなっています。ほら、あっちにも、こっちにも。女の子とおかあさんが、かごにいっぱいとっても、まだまだあります。でも、全部とらないで森の動物たちにのこしていこうね。



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「へのかっぱ」

5歳から

作・絵： 山下ケンジ

ひと夏の切ない思い出を描く、感動の物語。トキオは、ちょっと変わった風貌の男の子・フウタと出会って、なかよくなった。けれど、次の日……！？



講談社

声で読む日本の詩歌 166

「おーい ぼぼんた」

茨木のり子 / 大岡信 / 川崎洋 / 谷川俊太郎
/ 岸田衿子編集委員

5・6歳から

この本は、詩と俳句と短歌166篇からなる詩歌のアンソロジー。心も頭も柔軟な小学生が声にだして読み、まるごと暗唱できるように作られています。



福音館書店

【雑感】 スズメ蜂の被害が

増える季節になった。今年の夏は晴天と高温が続いたため幼虫の数が多くなり、数が増え、砂となる昆虫が減ったために攻撃性が増しているそうです。スズメ蜂は毒そのものではなく、アナフィラキシーショックによる死亡が多いので、注意しなければならぬ。

